

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成24年4月19日 (2012.4.19)

【公開番号】特開2011-168588(P2011-168588A)

【公開日】平成23年9月1日 (2011.9.1)

【年通号数】公開・登録公報2011-035

【出願番号】特願2011-26980(P2011-26980)

【国際特許分類】

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 K 48/00 (2006.01)

A 6 1 K 31/713 (2006.01)

A 6 1 K 31/7088 (2006.01)

A 6 1 K 38/00 (2006.01)

A 6 1 K 39/395 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

G 0 1 N 33/15 (2006.01)

G 0 1 N 33/50 (2006.01)

G 0 1 N 33/566 (2006.01)

C 1 2 Q 1/02 (2006.01)

C 1 2 Q 1/68 (2006.01)

C 1 2 N 15/113 (2010.01)

【F I】

A 6 1 K 45/00 Z N A

A 6 1 K 48/00

A 6 1 K 31/713

A 6 1 K 31/7088

A 6 1 K 37/02

A 6 1 K 39/395 D

A 6 1 K 39/395 N

A 6 1 P 43/00 1 0 5

A 6 1 P 35/00

G 0 1 N 33/15 Z

G 0 1 N 33/50 Z

G 0 1 N 33/566

C 1 2 Q 1/02

C 1 2 Q 1/68 A

C 1 2 N 15/00 G

【手続補正書】

【提出日】平成24年3月2日 (2012.3.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

Poli 遺伝子の発現を抑制する化合物を有効成分として含有する、癌細胞特異的アポトー

シス誘導剤であって、該遺伝子の発現を抑制する化合物が、該遺伝子に対してRNAi効果を有する二本鎖RNAである、癌細胞特異的アポトーシス誘導剤。

【請求項 2】

二本鎖RNAが、Poli遺伝子のmRNAにおける連続する任意の20～30塩基と相同な配列からなるセンスRNAおよび該センスRNAに相補的な配列からなるアンチセンスRNAからなる二本鎖RNAである、請求項 1 に記載のアポトーシス誘導剤。

【請求項 3】

Poli遺伝子に対してRNAi効果を有する二本鎖RNAを発現し得るDNAを有効成分として含有する、癌細胞特異的アポトーシス誘導剤。

【請求項 4】

請求項 1 ～ 3 のいずれかに記載のアポトーシス誘導剤を有効成分とする、抗癌剤。

【請求項 5】

以下の ( a ) ～ ( c ) の工程を含む、癌細胞特異的アポトーシス誘導剤のスクリーニング方法。

( a ) Poli遺伝子によってコードされるタンパク質またはその部分ペプチドと被検化合物を接触させる工程

( b ) 前記タンパク質またはその部分ペプチドと被検化合物との結合活性を測定する工程

( c ) 前記遺伝子によってコードされるタンパク質またはその部分ペプチドと結合する化合物を選択する工程

【請求項 6】

以下の ( a ) ～ ( c ) の工程を含む、癌細胞特異的アポトーシス誘導剤のスクリーニング方法。

( a ) Poli遺伝子を発現する細胞もしくは細胞抽出液と、被検化合物を接触させる工程

( b ) 前記遺伝子の発現レベルを測定する工程

( c ) 被検化合物の非存在下において測定した場合と比較して、該発現レベルを低下させる化合物を選択する工程

【請求項 7】

以下の ( a ) ～ ( c ) の工程を含む、癌細胞特異的アポトーシス誘導剤のスクリーニング方法。

( a ) Poli遺伝子の転写調節領域とレポーター遺伝子とが機能的に結合した構造を有するDNAを含む細胞または細胞抽出液と、被検化合物を接触させる工程

( b ) 前記レポーター遺伝子の発現レベルを測定する工程

( c ) 被検化合物の非存在下において測定した場合と比較して、前記発現レベルを低下させる化合物を選択する工程

【請求項 8】

以下の ( a ) ～ ( c ) の工程を含む、癌細胞特異的アポトーシス誘導剤のスクリーニング方法。

( a ) Poli遺伝子によってコードされるタンパク質、または該タンパク質を発現する細胞もしくは細胞抽出液と、被検化合物を接触させる工程

( b ) 前記タンパク質の活性を測定する工程

( c ) 被検化合物の非存在下において測定した場合と比較して、前記タンパク質の活性を低下させる化合物を選択する工程